

情報公開用文書 (市民総合医療センターで実施する医学系研究)

(多施設共同研究用)

西暦 2023年4月10日作成 第2版

研究課題名	向精神薬がてんかん発作に影響を及ぼす臨床的要因の検討ならびに てんかん患者の併存精神疾患に影響を及ぼす臨床的要因の検討
研究の対象	2000年1月1日から2021年3月31日に、横浜市立大学附属病院精神科外来を受診したてんかんの患者さんです。
研究目的 ・方法	横浜市立大学附属病院精神科では、てんかんの患者さんを対象に、診療録を基にした観察研究を実施しています。本研究の目的は、発作型、発作頻度、精神症状、併存症、知能指数、投薬内容等について調査を行い、向精神薬の投薬内容と発作の関連性の検討ならびに、てんかんの患者さんに併存する精神疾患に影響を及ぼす臨床的要因を検討するとともに、患者様により良い治療を提供することです。対象となった方のお名前、ご住所、あるいはご本人の具体的な症状などプライバシーに関わる情報が外部に伝わることは一切ありません。また、今回の調査で得られた結果は、医学的な専門学会や専門雑誌などで発表されることがありますが、その場合にも個人情報公開されることはありません。 この研究に同意されない場合やこの研究に対してご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ねください。尚、結果をすでに発表した後では同意の撤回ができませんのでご了承ください。
研究期間	承認日 ~ 西暦 2026年3月31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	・現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、てんかんの罹病期間、精神科診断 (ICD-10、DSM-5)、身体合併症、知能指数 (IQ) ・てんかんの発作型、発作頻度、脳波所見、頭部 CT・頭部 MRI などの画像所見 ・精神症状 (抑うつ、意欲低下、食思不振、自殺念慮や行為、不安焦燥、幻覚、妄想、精神運動興奮、行動変容、睡眠障害など) ・抗てんかん薬、向精神薬、その他の薬剤の投薬内容
外部への 試料・情報の 提供	外部へのデータの提供は、おこないません。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	この研究は横浜市立大学附属病院との共同研究であるため、研究用の個人を特定できない ID に変換して、当センターから紙媒体で提供をおこないます。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。
研究組織	研究代表機関：横浜市立大学附属病院 臨床検査部 高石 政男 共同研究機関：横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神医療センター 西田 拡人

情報公開用文書 (市民総合医療センターで実施する医学系研究)

(多施設共同研究用)

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神医療センター (研究責任者) 西田 拡人

電話番号：045 - 261 - 5656 (代表)